

タカラコラボラボ 第14回・第1期第14回TaCoLAB(宝塚市協働のまちづくり推進会議) 議事録	
開催日時	令和7年(2025年)7月4日(金) 15:30~17:00
開催場所	会議室A
次 第	1 開会 2 議事 (1) つながりカフェ TaCoLAB について (2) 協働の事例集の更新について 3 その他 4 閉会
出席委員	田中会長、加藤委員、遠座委員、松村委員、龍見委員、大関委員、平岩委員、橋之爪委員
開催形態	公開(傍聴人1名)

1 開会

事務局から、本日の出席者は8名であり、宝塚市協働のまちづくり推進会議規則(以下「規則」という)第5条第2項に規定する過半数の出席要件を満たしているため、会議が成立していること、及び傍聴希望者は1名であることを報告した。

2 議事

(1) つながりカフェ TaCoLAB

ア 6/17(火)実施 第9回作業班報告

- ① チラシ(7月~8月分)について
- ② 申し込みフォーム・アンケートについて

表記について事務局より資料に基づき報告を行い、意見交換を行った。

- (ア) (会長) 大学でも就労支援のカフェや就学支援のカフェなど現在非常にカフェが流行っている。当日参加者がすごく来る日があったりもするため、参加人数について少し考えていく必要がある。
- (イ) (事務局) 6月に開催したつながりカフェで参加ゲストの方より宛名用のシール等で名前がわかった方がいいのではという意見があった。この件についてもご意見をいただければと思う。
- (ウ) (会長) 川西のつながりカフェでは司会者の方がホワイトボードに席の位置と名前がわかるように書かれていた。また、紙に名前を書いて三つ折りにして立てるやり方など色々ある。
- (エ) 名札を付けていたりするが机があると隠れて見えない場合がある。はじめに自己紹介しても話しているうちに名前を忘れてしまう。6月の開催時に

来られた人も珍しい読み方の名前だった。そういったことも文字で見えると印象に残りやすいと思う。

- (オ) 初めて来られる人が話をしている、名前がわからないと続きの話をしにくい場合がある。
- (カ) ファシリテーター側も名札があった方が話を振りやすいと思う。
- (キ) 確かに、最初に自己紹介をしても、話しているうちに名前がわからなくなりそうだから、名前がずっと表示されているほうが良いと思う。
- (ク) (会長) PTAの集まりの時などにもやっているが、ガムテープで名前を書いて貼っても良いと思う。
- (ケ) (事務局) 方法はいろいろあるにしても、コミュニケーションをとるうえで名前は分かっていた方が良いということか。
- (コ) (会長) そうなる。名札でも良いと思う。
- (サ) 名札はひっくり返ったりすると見えなくなるかもしれない。
- (シ) 簡単にA4の紙があれば良いと思う。
- (ス) (会長) 自分で書いてもらえばいい。
- (セ) (事務局) 事務局でA4の紙をお持ちして、名前を書いてもらって、それを保管し、また来ていただいたときに使ってもらおうというやり方で大丈夫か。
- (ソ) それでいいと思う。
- (タ) (会長) しばらく行けていなくて久しぶりに行ったときに自分の名前が残っていると嬉しいと思う。
- (チ) (事務局) 事務局で準備して持っていく。また、机がない場所の場合はテープやシールなど何かしらで名前がわかるようなものを持っていくようにする。
- (ツ) (会長) (つながりカフェ TaCoLABの) 第6回については、質問・意見等はそれだけか。
- (テ) (事務局) あとは、ここでつながりカフェをやっていますよというのがわかる看板とかがあった方が良いのではないかという意見があった。
- (ト) (会長) ウェルカムボードのようなものか。
- (ナ) (事務局) そのようなイメージ。
- (ニ) (会長) 別に大きなものでなくても、立て掛けられる小さなものでもここでやっているというのが分かれば良いと思う。描いたりするのも上手な人はたくさんいる。
- (ヌ) (事務局) 場所によって変わってくると思うが、わかるようなものを準備したいと思う。手書きでここでつながりカフェをやっていますとするのが良いと思うが、場所によっては紙などを貼らせてもらって対応したいと思う。
- (ネ) つながりカフェのチラシを大きく印刷して貼れば良いと思う。
- (ノ) (会長) カラーで印刷して貼ると目立つと思う。
- (ハ) A3のサイズで十分だと思う。

- (ヒ) (事務局) 7月、8月は大きく印刷したチラシを貼ろうと思う。
- (フ) (会長) (つながりカフェ TaCoLAB の) 6月の開催に出席した委員の2人は何か感想や追加で意見はあるか。
- (ヘ) よく話す人をゲストとして連れて行ったので、かなり色々話してくれた。長く地域活動をしてきた人だったため、色々な思いや経験を聞けてすごく参考になったのではないかと思う。
- (ホ) どんな話で盛り上がったかなど、印象に残っている話は何かあるか。
- (マ) ゲストで来てくれた人はいろいろな方の背中を後押ししている人だった。これまでの肩書など鎧を着ているのではなくて、取り払うことが大事だということだった。参加した市の職員の一人が田舎に住んでいてという話の中で父親が外に出ると知り合いばかりいて立ち止まるため、なかなか目的地にたどり着けないという話があった。その話から、昔ながらの村や町でのつながり方や男性の外でのつながりが今はあまり見られないなと思ったため、その話がとても印象に残った。
- (ミ) (事務局) 私も参加させていただいて、マイナスなこともすべてポジティブに変換して、前に進めるよう背中を押しているという話を聞くことが出来てとても勉強になった。
- (ム) 特に男性があまり外に出てこないのをどうするべきかという話になった。先ほどもあったが、鎧を取っ払っていかないといけない。
- (メ) 鎧を取っ払ってというのはマ委員が鎧を持っていないということか。
- (モ) 6月開催に来てくれたゲストが、こういった場所に来ると大体鎧をまっとうしてとっつきにくい感じがすると言っていた。そのため、そういったものをなくしてしまった方が早いのではないかということだった。
- (ヤ) (メ委員) 6月開催のゲストから見て参加者の男性陣に堅い感じの人が多かったということか。
- (ユ) (モ委員) そうではなくて一般的にという話。鎧の話は私がファシリテーターをやっていたので私にという話になった。
- (ヨ) 6月開催のゲストは私も所属している NPO のメンバー。その方は自治体が市民を募集して少し働きませんかという就労支援活動をしている。その説明会に来られて、話は聞くが、そのあとの一歩が出にくい、逡巡しているような人と事業者とを結びつけて背中を押すことがすごく上手な人。男女関係なく、寄り添ってこの人こんな人だなと見立ててこういう風に克服したらいいんじゃないかというのが出来る人。
- (ラ) キーワードとしては自尊感情を高めることが私の得意なことだとおっしゃっていた。
- (リ) (会長) 次回は7月25日18時からの開催ということで参加予定の委員の方はよろしくお願ひしたい。
- (ル) (会長) 申し込みフォームやアンケートについてはなにか意見はあるか。

- (レ) (意見なし)
 - (ロ) (事務局) チラシについて、話し合って作成させていただいたが、今後9月以降の活用についてお聞きしたい。やり方としては、日付のみ変えていく場合と作成のタイミングで新たに作り直す方法が考えられるがどのように進めたらよいなど意見をいただければと思う。今のデザインで日付や吹き出しの部分を変えていくというやり方でもいいかなと思っている。
 - (ワ) せっかく作ったのでこのデザインで日付や吹き出しを変えていくやり方で良いと思うが、実際チラシを見て来られた方のこういう情報があった方がいいなどの意見を反映していったら変えていけばいいかなと思う。
 - (ヲ) この間少し指摘があったのが、チラシにお菓子が載っていると出てくるのかなと思ってしまう。今もお菓子やお茶を持ち寄っているが、何もないというのをチラシに書くのもどうかと思う。ふらぎこむで開催したときはお菓子があった。
 - (ン) (事務局) 場所についてはお菓子が食べられる場所とそうでない場所がある。飲み物は大丈夫だが、食べ物はだめな場所もある。
 - (ア) 現在場所について試行している中で、やっぱり飲食をしたいという声があるということは、開催場所については飲食可能なところに限定するべきだという学びになっていると思う。飲食ができない場所ではやらないということにしてはどうか。また次回開催場所のアピア北のレストスペースは少し狭いイメージがあり人が入るのか少し心配。
 - (イ) (事務局) 椅子や机は移動させていいと聞いている。
 - (ウ) 椅子だけであれば入るかもしれない。動かせるとは思いますが、真ん中に大きなゴミ箱がある。場所の雰囲気は良いと思う。
 - (エ) アンケートに開催場所はどうか書く項目がないが、話しやすかったかどうかや雰囲氣的に馴染めたかなどは聞きたいかなと思う。
 - (オ) (会長) 確かに場所は大事になる。
 - (カ) アンケートを取るときにこの場所について何かあればという補足的な感じでもまずはいいかもしれない。つながりカフェ中の会話の中で「この場所どうですか」と聞いても良いと思う。
- (2) 協働の事例集の更新について
- ア 事例集の作成に向けて
- 表記について事務局より資料に基づき説明を行い、意見交換を行った。
- (ア) (会長) 事例集の更新について私たちの任期が11月であるため、進捗が少し遅れている。事例集のインタビュー等を同時進行してもよいかということだが、どうか。
 - (イ) 選択肢としてはどういったものがあるのか。
 - (ウ) (事務局) 一番きれいなのはやはり11月までにすべての事例集の更新が完了すること。また、次の委員の方に引継ぐことや、できるところまで行い、

任期までで区切りとし、終了することも選択肢の一つだと思う。

- (エ) この推進会議は次もあるのか。
- (オ) (事務局) 委員のメンバーは変わるが、期としては行う。委員さんの無理のない範囲で進めていきたいというのが市の思いではあるが、都合もあると思うので、できなかった部分は次の期の委員へ引継ぎを行ってもらい、やるかどうかは次の期の委員で決めてもらえたらと思う。事例集についてはこれまで話してきた中で継続的にやっていきたいという声が多くあった。今回9事例をあげているが、9事例やらないといけないという決まりもないため、できる範囲でやってもらえたらと思う。ただ、インタビューに行ったが、記事が完成しなかったというのは引継ぎが難しいため、委員を継続しない場合もあると思うが、完成させてもらえればと思う。それぞれ各担当の進捗によって状況が違うため、個別で考えてもらい、取り掛かれるところから取り組んでもらいたい。
- (カ) (会長) あまり堅苦しく任期について考えず、できる範囲で取り組んでもらえればと思う。
- (キ) (事務局) また個別でお声かけさせてもらう。
- (ク) 懸念しているのは同じ先行5事例についてもまだインタビューにいけていないところもある。
- (ケ) 私の担当もまだ始まっていない。日程が決まってやりだすと早いと思うが、日程調整に時間がかかってしまっている。
- (コ) (事務局) おそらく、委員さん2人とインタビュー先との日程調整で時間がかかってしまっている。
- (サ) それもそうだが、インタビュー先の出席者がかなり多くの人数で日程調整をしているため、それでは決まらないと思う。日程調整をする際に出席してほしい人をあらかじめ決めておかないと難しい。一カ月の予定を出してくれというのもこちらは正直負担。主要なメンバーだけで良いと思う。打ち合わせ時点では主要な人だけ来てもらえればとなっていたが、なぜか10人くらいに増えていた。
- (シ) (事務局) 確かにそれは、2、3人で良さそう。
- (ス) (サ委員) 市民協働推進課で日程を調整するのであれば、そのあたりを共有しておいてもらいたい。そうすると後行の事例もスムーズに進むと思う。
- (セ) 後行の事例についても今から日程調整をしていく必要があると思う。そのうえで先行と被ってしまう場合はやりくりをする必要がある。ただ、あまりにも日程調整に時間がかかりすぎていると後行の事例に影響してくると思う。
- (ソ) 後行をやるかどうかは先行が終わってからでいいと思う。
- (タ) 先行だけでも5事例終わるようにしていくべき。
- (チ) もし後行事例のインタビューの日程調整をするのであれば、先ほどサ委員の意見も踏まえて進めていってほしい。

- (ツ) 例えば後行の19番の事例は8月5日に集まる日があるため、インタビュー担当とライティング担当の都合がつけばいけると思う。
- (テ) (インタビュー担当) おそらくいけると思う。
- (ト) 23番の事例も担当者とすぐに連絡がつくと思う。
- (ナ) 19番と23番の事例については取り掛かって問題ないか。
- (ニ) 問題ない。

イ 作成中記事(案)についての共有、校正

標記の件について、2名のライティング担当より記事(案)について説明を行い、意見交換を行った。(記事内容に関する意見交換省略)

- (ア) (会長) HPの構成についてだが、最初に活動の概要を記載し、そのあと内容を記載する感じか。
- (イ) そのような感じでいいと思う。
- (ウ) (事務局) 記事作成の流れとしては、団体に記事を確認し、委員の皆さんでもご意見があればいただくという流れになっている。今回は急遽2名の委員さんに記事(案)をご提供いただいたため、後日でも、何かご意見等あればいただければと思っている。
- (エ) できるかわからないが、記事に載っている写真について、何をしている写真なのかキャプションみたいなものを付けられないか。
- (オ) (事務局) 確認する。
- (カ) 写真の下にテキストボックスをつけて、1つの画像にするのはどうか。
- (キ) (事務局) カ委員がおっしゃったようなことはできると思う。
- (ク) 記事の最後に、作成者やインタビューアー等委員の名前を載せたい。
- (ケ) 記事(案)の校正について、作成者の思い等もあるため、どこまで意見するかが難しい。
- (コ) ライティング担当から作成した記事(案)について「このあたりがちょっと気になる」であったり、「この書き方が不安」というポイントについて相談してもらい、意見する方法で良いと思う。
- (サ) (会長) あとはプラスアルファな意見があれば言ってもらえば良いと思う。
- (シ) 文字数の関係で入れられなかった部分などについてはどこかを削って入れるべきなのか等も検討できると思う。
- (ス) 一度入れたい内容はすべて入れてしまって、その状態から話し合っ削っていくこともできると思う。
- (セ) 私も作成する際に入れたいことをすべて入れると2300文字くらいになり、そこから削って作成した。内容を活動者の思いの部分に寄せるか、活動内容に寄せるかのバランスで書く際に苦労した。800字(目安)だと活動者の思いや感想の部分は少し入れにくいと感じた。
- (ソ) 活動内容についてはさらっと記載して、活動に至った経緯や、思いなどが事

例集としてはより必要かなと思う。

- (タ) 確かに活動概要は調べたら出てくる場合がある。
- (チ) (事務局) 活動概要などはリンクを貼っておくと、そこから飛んで見ることができるかなと思う。
- (ツ) 事例によっては活動内容の方が面白く、そこをもっと聞きたいという場合もあると思う。
- (テ) 記事(案)について削る作業はみんなでやった方が良いかなと思う。
- (ト) 困っているところや悩んでいるところについてはみんなで校正という形でやればと思う。
- (ナ) 別々で提出するイメージだったが、記事の提出の仕方は写真も添付した状態での提出なのか。
- (ニ) (事務局) 画像は別で提出もいただきたいが、この写真はここになどが分かりやすいため、写真も添付した状態だと有難い。やってみないとわからないため、現段階でレイアウトのとおり HP にできるかはわからない。
- (ヌ) 記事作成についてはやれるところまでやって、相談したいところは話し合うという進め方で問題ないか。
- (ネ) (事務局) 問題ない。記事(案)について相談する場として作業班という形でさせていただいてよいか。
- (ノ) それで問題ない。
- (ハ) (会長) 作業部会のようなものを設けて検討していく方が良いと思う。
- (ヒ) 原稿があって、どういったところを話し合いたいかかわっている状態で作業班をした方が良いと思う。

ウ 事例掲載ホームページのタイトルの意見出し

標記の件について事務局より説明を行い、意見交換を行った。

- (ア) (会長) このタイトルについては皆さんの記事が出てきてからでもいいということだったかと思うがそれでも大丈夫か。
- (イ) (事務局) 今日絶対決めないといけないわけではないが、事務局で案を出すと委員の方も考えつくかもしれないと思いいくつかあげさせていただいた。
- (ウ) 一番しっくりくるのはク。ア～キだと協働を意識して記事を作成しないといけないように思う。クだと幅広い内容で記載できる。
- (エ) 協働の事例集というところでやっているが、記事を実際に作成された方は協働について記載するのは難しかったか。
- (オ) 協働の要素は少し薄いかもしれない。実際にインタビューをして心打たれる話などを記載したいなと思っているため、協働に沿う内容にするとなると難しい。
- (カ) (会長) 心打つとか共感することなどから始まるのかなと思う。
- (キ) 実際にインタビューした際に協働に関する質問はしたか。

- (ク) 質問したところ、やはり協働に対する気持ちが違った。協働ということばでなくてもその活動に参加した気持ちがそれに値すると思う。
- (ケ) 確かに協働はしようと思ってやっているものではない。
- (コ) 今話を聞いて思いついたが、「あなたの思い、あなたの力、結実集」というのはどうか。あなたの思いと力が実を結んだという思いを込めた。思いだけではなくてそこに力があることで実を結んだ。
- (サ) 協働とまではいなくても色々な人が関わり合っていてできているというところが表せたらいいと思う。
- (シ) (コ委員) 最終的に実を結ぶというところまでつなげていきたい。
- (ス) 結実集より実を結ぶでも良いと思う。
- (セ) 小さく「～協働の事例集～」という文言を入れておけばいいと思う。
- (ソ) それぞれ別のことをやっても結果として実を結べばいいのかなと思う。
- (タ) 読む人がタイトルを見て読みたいなと思ってもらえることが大事。
- (チ) 一目で何が書かれているのかわからないといけない。
- (ツ) どうやって協働しているのかななどを記載して、連絡取れるようにしたらいいのかなという話をしたと思うがどうか。
- (テ) 協働の事例集というところの活動はここでしかできないんだなという考え方になってしまう。その観点でいくと事例集がどれだけ役立つか、これを見て私もやってみようかなという人がいればいいのかなと思う。一人一人が考えて実行にうつさないといけない。そうするとそれが協働になってくるのかなと思う。そこでしかできないことも、思いなどを知れると同じことはできなくても参考になると思う。一つのアイデアとして検討いただきたい。
- (ト) 事例集とかよりは「実を結ぶ」などと書いている方が伝わりやすいと思う。
- (ナ) (会長) 今日の意見も踏まえて検討していきたいと思う。

4 閉会

以上